

## 第33回エコクリティシズム研究学会大会

日時：2021年8月14日（土）10時00分～17時10分

場所：オンライン開催（Zoom ミーティング形式）

### プ ロ グ ラ ム

総合司会 三重野 佳子（別府大学）

10時00分 開会の辞 塩田 弘（SES-J 会長）

10時10分～11時10分 **ワークショップ**

「Blue Humanities——*Wild Blue Media*（2020）を読む」

司会・担当：菅井 大地（松山大学）

担 当：浅井 千晶（千里金蘭大学）、伊藤 詔子（広島大学）

11時10分～11時20分 <10分休憩>

11時20分～12時30分 **研究発表**（発表25分 質疑10分）

1. 林 千恵子（京都工芸繊維大学）11時20分～11時55分

「先住民族の地名研究は何をもたらすのか——Thomas Thornton のプロジェクトがアラスカ南東部社会に与えた影響」

司会：深井 美智子（神戸女子大学）

2. 小杉 世（大阪大学）11時55分～12時30分

「クリスマス島の英米核実験と除染をめぐって——キリバス民間人の視点から」

司会：松永 京子（広島大学）

12時30分～13時00分 <昼食休憩>

13時00分～15時00分 **シンポジウム**

「『トランスパシフィック・エコクリティシズム』再考」

司会：一谷 智子（西南学院大学）

講師：牧野 理英（日本大学）

「災害とローカル・ナラティブ——ジュリエット・コーノ『ツナミの年』における海の表象」

講師：一谷 智子

「核被害と気候変動のはざままで——キャシー・ジェニトル＝キジナーのトランスパシフィックな詩学」

講師：湊 圭史（松山大学）

「オセアニアとSF——Greg Egan のポストアポカリプス小説における非人間的世界観」

討論者：芳賀 浩一（城西国際大学）

15 時 00 分～15 時 10 分 <10 分休憩>

15 時 10 分～16 時 20 分 **特別講演**

講師：高橋 勤 氏（九州大学）

「自然保護という思想——ソローからジョン・ミューアへ」

司会：大島 由起子（福岡大学）

16 時 20 分～17 時 00 分 **総会**

17 時 05 分 閉会の辞 松永 京子（SES-J 副会長）